

通告1番目、7番、福岡進二議員、発言席から一問一答方式で質問をお願いします。

福岡進二議員、1番目の質問をお願いいたします。

○福岡議員 おはようございます。7番、福岡進二です。議長の許可を得ましたので、通告に従い一問一答方式にて一般質問を行います。

今議会では、根来さくらの里の状況についてと2025大阪・関西万博の活用についての2点について質問を行います。

最初に、道の駅根来さくらの里について質問を行います。

岩出市では、根来さくらの里とねごろ歴史の丘と2つの道の駅があり、それぞれ産業振興課、生涯学習課が運営に際し尽力され、まちの活性化に寄与されていることに感謝申し上げます。

今回、一般質問させていただく根来さくらの里については、3月15日にリニューアルされ、オープニングセレモニーには私も総務建設常任委員会の委員長として出席させていただきました。リニューアルオープンのイベントとして、紅白の餅のプレゼントや常備野菜の詰め放題など、たくさんのお客さんでにぎわっていました。

そこで3点お尋ねいたします。

1点目として、道の駅さくらの里が3月にリニューアルされ、その後の来客数及び売上げ状況等についてお伺いいたします。

2点目として、道の駅については、指定管理者制度により運営を行っていますが、今後、さらに交流人口が創出されるために、どのようなイベント等を計画されているのか、お伺いいたします。

最後に3点目として、店頭精米コーナーについてです。現在、米の価格高騰及び米不足問題については、小泉農林水産大臣就任以来、随意契約が行われ、2,000円台の販売がされつつありますが、さくら里の精米コーナーは、現在どのような状況であるのか、お伺いいたします。

また、指定管理者でもあるJAの強みを生かし、安定供給ができることができれば、市民の皆さんに売り込むチャンスにもなり得ると考えますが、市の見解をお伺いいたします。

○玉田議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○岡崎事業部長 福岡議員ご質問の1番目、道の駅根来さくらの里の状況について、一括してお答えいたします。

1 点目のリニューアル後の来客数は、また状況は、についてですが、道の駅根来さくらの里は、本年 3 月 15 日にリニューアルオープンし、来場者数、売上げともに前年を上回る結果となっております。具体的には、令和 7 年 3 月 15 日から 5 月末までの売上げは 4,315 万 5,225 円、販売数は 2 万 1,553 人で、前年同時期と比較して売上げは約 388 万 2,000 円、約 10% 増、販売数は 3,325 人、約 18% 増となっております。リニューアルイベントや施設の快適性向上が来場動機の一因となったと考えております。

2 点目の今後の活性化に向けた計画についてですが、道の駅では指定管理者 J A わかやまが中心になって、年間を通じて、イベント、桜まつりをはじめ、たくさんの企画をしております。令和 7 年度は 30 件を超えるイベントが予定されております。地場産品を活用した詰め放題・試食会、記念日に合わせたイベント、クリスマスや正月を意識した買物促進企画など、季節性や地域資源を生かしたイベントにより、交流人口の創出と販売増加による地元農家の収益確保につなげてまいります。

3 点目の米の販売についてですが、岩出市産の米は、令和 6 年度産キヌムスメを 9 月下旬から 3 月下旬までに販売いたしました。岩出市産の新米が終了した後は、熊本県産の米が供給されておりましたが、6 月 22 日に完売し、6 月 23 日現在では福井産のお米に切り替えて販売しております。新米の販売は 9 月中旬以降の見込みでありまして、市としても、J A に対して地場産米の年間供給の継続を要望しながら、供給の確保に努めてまいります。

○玉田議長 再質問を許可します。

福岡進二議員。

○福岡議員 1 点、再質問を行います。

指定管理者でもある J A わかやまが中心となって、年間を通じたイベントを多数企画しているとのことですが、イベント実施において、市はどのように関わっているのか、お伺いいたします。

○玉田議長 答弁願います。

事業部長。

○岡崎事業部長 福岡議員の再質問にお答えいたします。

イベントの主催は、指定管理者である J A わかやまが担っていますが、市も積極的に関与しております。具体的には、毎月の定例販売促進会議において、実現性と効果のある内容をイベントの企画段階から協議しております。

また、後方支援としまして、広報いわでやプレスリリース、観光サイトなどを通

じて周知支援を実施しております。今後も市と指定管理者が連携して、売上げ拡大に取り組んでまいります。

○玉田議長 再々質問を許します。

(な し)

○玉田議長 これで、福岡進二議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いします。

福岡進二議員。

○福岡議員 次に2番目、2025大阪・関西万博の活用について質問を行います。

大阪・関西万博については、建設コストの増加やパビリオンの建設遅れ、また会場のメタンガス検出による安全性の懸念、またチケット価格の高さなど、開催前は多くの批判がありましたが、それらを乗り越え、4月には盛大に開催し、連日盛況な状況であります。

先日、市長の行政報告の中では、大阪・関西万博への岩出市出展として、5月18日に、大阪・関西万博において、岩出市の観光資源や特産品を来場者へPRするとともに、根来の子守唄や根来鉄砲隊のパフォーマンスを披露され、物販ブースでは地元の特産品を販売されたとの報告がありました。

そこで2点お尋ねいたします。

1点目として、岩出市の魅力を発信する場として、岩出市の日において、地元の特産品を販売したとのことですが、どのような特産品をPRしたのか。そして、売上額はどうかであったのか、お伺いいたします。また、岩出市の日については、市のウェブサイトを見ても、目立った広報活動をしているとは感じられず、せっかくの機会であったのに、住民の方もほとんど知らないような状況であったかと思うのですが、その辺りはどのように考えているのか、お伺いいたします。

次に2点目として、岩出市の小中学校の遠足での活用状況についてです。万博を校外学習の場として活用するに当たり、この先厳しい暑さが続くと言われている中、広い敷地を移動するため、日陰の少ない中、熱中症のおそれもあり、また生徒も有名なテーマパークのほうがいいとか、そのようなネガティブな視点で万博を批判する声も聞きました。もちろん様々な問題点については真摯に考え、対策する必要がありますが、最近の動向を聞いていますと、遠足等で訪れた学生たちの感想では、万博を体験できてよかった、また行きたいという声が多く聞くようになり、ようやく万博に対して後ろ向きではない、機運が高まってきており、今後ますます活気づいてくることを期待しています。

そこでお尋ねいたします。岩出市の小中学校での万博の活用について、予定を含め、現在どのように考えているのか、お伺いいたします。

○玉田議長　ただいまの２番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○岡崎事業部長　福岡議員ご質問の２番目、2025大阪・関西万博の活用についての１点目の岩出市が出展した日の内容は、についてお答えいたします。

５月18日に大阪・関西万博の関西パビリオン横の多目的エリアにて開催された、「IWADE CITY FESTIVAL～食べて飲んで感じて～」では、岩出市の魅力を来場者に広く発信すべく、地酒、黒あわび茸のつくだ煮や甘酒、あられ、根来塗のお箸などの民芸品といった特産品の販売を行いました。販売実績は、合計で48万1,255円に上り、特に黒あわび茸のつくだ煮は早々に完売になるなど、岩出市の特産品に対する高い関心が示されました。

また、当日は、根来鉄砲隊や根来の子守唄による歴史文化パフォーマンスも実施し、岩出市の魅力を五感で体験できる構成となっており、6,903人の来場者を記録するなど、大きな盛り上がりを見せました。

広報面においては、岩出市公式ウェブサイトでの報道発表、きのくに21への出演によるPR、わかやま新報でのイベント紹介記事掲載、岩出市観光協会Instagramでの事前・当日の告知と報告投稿、市役所入り口のデジタルサイネージによる継続的なPR放映などを行い、市内外に向けた情報発信を行いました。

また、広報いわで7月号の表紙、特集として、万博での岩出市の取組を掲載予定となっております。ただし、一部市民の皆様から知らなかったという声があったことは事実であり、周知の方法に、まだ改善の余地があると受け止めております。今後は、市民の皆様にとって、よりよい身近で届きやすい手段、例えば市役所の施設内のチラシ配布やポスター掲示などもさらに強化し、広報に努めてまいります。

○玉田議長　教育部長。

○南教育部長　福岡議員ご質問の２番目の２点目、小中学校での遠足の活用は、についてお答えいたします。

和歌山県大阪・関西万博教育旅行参加支援事業を活用した本市の校外学習の計画は、万博開幕前の令和６年度に各学校長の判断により申込みをしております。

まず、小学校についてですが、６月９日の山崎小学校を皮切りに、残り５校についても、９月18日から９月30日にかけて、順次万博に出かける予定としています。

次に、中学校では、修学旅行や社会見学、職場体験学習など、既に決定している

行事が多く、日程調整が困難であることなど、総合的に判断し、参加をしない決定をしたと聞いております。

万博への教育旅行は、次代を担う子供たちが世界各地の最先端の技術に直接触れることができる貴重な機会であり、学校教育の充実を図る上でも興味深いものと考えています。また、先行した山崎小学校の情報を全ての学校で共有するとともに、子供たちが安心・安全に、かつ快適に万博を体験できるよう、今後も様々な情報を提供してまいります。

○玉田議長 再質問を許します。

福岡進二議員。

○福岡議員 2点、再質問を行います。

1点目として、広報面においては様々な周知を行ったとのことですが、実際には市民全体には情報が届いていないのではないかと感じます。

そこでお伺いたします。情報が届いていない理由と、今後の改善点についてお伺いたします。

2点目として、6月9日の山崎小学校の大阪・関西万博での様子はどうかであったのか。また、残り5校の小学校も9月以降順次万博に行く予定とのことですが、9月といえども残暑厳しいと思いますが、暑さへの安全対策等はどのように考えているのか、お伺いたします。

○玉田議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○岡崎事業部長 福岡議員の再質問、市民全体に情報が届いていないのではないか、についてお答えいたします。

ご指摘のとおり、市としては、ウェブや新聞、SNS、サイネージなどを活用し、情報を発信いたしました。が、市民向けの情報伝達において、課題があったと認識しております。

今後は、学校、商工会への直接通知や、市内スーパー、駅、公民館などの人の集まる場所でのポスター掲示のような接点強化型の広報施策を推進してまいります。広報の手段だけではなく、どう届けるかも重視し、話題となるような仕掛けづくりを検討してまいります。

○玉田議長 教育部長。

○南教育部長 再質問の2点目、6月9日の山崎小学校の大阪・関西万博での様子についてお答えいたします。

山崎小学校の６年生は、事前学習を行って、見学当日に備えました。午前中はペア学年で、午後は学年単位で行動いたしました。高学年では未来の都市パビリオンがよかったなどの声が、低学年は命のパークというミストの出るところで喜び、大屋根リングに登って歩くことができよかったなどの声があり、児童に大変好評であったと報告を受けております。

次に、暑さへの安全対策についてですが、熱中症対策として、万博側はスポットクーラーの設置や、日陰となるパラソルの設置、冷却ミストの設置、給水施設も設置などの対策がされていることを確認しております。また、学校としましては、見学経路にミストシャワーを入れる、水分補給を徹底させる、休憩時間の確保、引率体制の強化などの安全対策を取るよう指示をしております。

○玉田議長 再々質問を許します。

(なし)

○玉田議長 以上で、福岡進二議員の一般質問を終わります。